

## 平成26年3月 LCA国際小学校 学校自己評価

学校教育目標	重点目標(中・長期目標)	総合評価					
◆社会の一員として個性を生かして、社会に貢献できる人間の育成 ◆世界を舞台に活躍できる人間の育成 ◆生きることの素晴らしさを知った人間の育成	英語の教育センターとしての機能を将来持たせるための準備を始める	LCA内にLCA教育出版社を作り、教材づくりを始めた。オリジナルの教材をつくることで教育センターとして機能しやすくなってきた。					
	<b>今年度の重点目標</b>	<b>成果と課題</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>改善策・向上策</b>
	学校の組織化（効率の良い校務分掌の作成、職員がチームとして働く）	企画会議のメンバーに、経験豊かな人間が3人増えたことで、会議の内容が充実した。事務部長を置くことで教務と事務を分化した。	○	○			1年後の統合に向け、効率的な組織を作る。
	英語・体育を重点教科とし、指導法の見直し指導上の成果を上げる	英語指導は教材やテストカリキュラムが充実したことで、かなり成果が上がった。体育は外国人教師のみで日本流にできるようになってきている。	○				指導内容のさらなる向上が課題。研修を受けさせたい。

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
<b>教育活動</b>	教育課程	学習指導要領に準じながら英語力を伸ばすカリキュラム作り	児童会・委員会活動の定着	児童会・委員会が良く機能し始めた。		○			話し合いを英語で活発にできるようになってきた。
	教科指導	体育:運動量を増やす。カリキュラムに変化を持たせ、飽きさせない	日本の体育指導の良い点を取り入れた運動量を多くした指導法の確立	日本の体育の良い点はかなり取り入れられた。ユニホームを作ったことで、意識の切り替えがよくなった。		○			カリキュラムに変化を持たせ、より楽しい体育にすることが課題。
		英語:①日本人に合ったカリキュラムの作成②LCA独自の教材の作成③英語での表現力を上げる	①カリキュラムの完成度②教材の完成度③英語での、ディスカッション・スピーチがどのくらいできたか	オリジナルのテキストが低学年用、高学年用とも完成。	○				さらにフォニックス教材や年齢に合った英語の絵本の出版を目指す。
		作文:国語科の教師や保護者が「100時日記」の方法で作文を書かせることができる	100時日記の方法で書かれて作文の文集をつくる	「見たこと作文」のサンプルをHP上で見られるようにした。			○		継続的に文集を発行していきたい。
	児童指導	「自分の気持ちを、相手にきちんと伝える。相手の気持ちを受け取る。」ことを大切に児童指導	児童が学校で起きたトラブルなどで、気持ちが曇ったまま帰宅することが無いよう取り組めたか、また、家庭との連絡やその後のフォローは適切にできたか	ディレクターや教務主任、養護教諭のレベルまで、LCA流の児童指導ができるようになってきた。児童のコミュニケーション力の成長を感じることができるようになった。	○				担任もLCA流の児童指導ができるようになることが課題。
<b>学校運営</b>	地域との連携	地域と連携し、社会科見学を実施する。また、実際的な話を聞くために、地元の方を講師として招く	地域の方との連携で効果的な指導ができたか	今年度もハローウィーンやジョブフェアというイベントに地域の方を招待した。定着してきた。		○			ジョブフェアはとても良い企画であったので、継続発展させていきたい。
	研修	LCAの教育理念を理解するための研修 新しい学力観に基づいた授業の研修 自立した子を育てるための野外活動研修	研修は適切に行われたか、また、効果はあったのか	GEMSというカリフォルニア大学が開発した、プログラムの指導法の研修を全教員まる2日おこなった。副校長が複数になったことで、日常の学校生活の中で気づいたことをすぐ注意し成長に繋げることができるようになった。		○			研修を続けることで、より効果的な指導ができるようにしたい。